

キャラクター名  
ローゼ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	学生
	オプション		年齢		性別	
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	疎まれた子	経験	心の壁	邂逅	彼	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	3	0	0			3	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	2	1	3	1		7	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
コネ; 嗜好好きな友人	
コネ; UGN幹部	
思い出の一品	

合計装甲: 1    合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ マス 消費
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー			ドローム		
効果: □値をSL点下げる								
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界		RC		
効果: 攻撃力SL+2								
振動球	1	3	メジャー	視界		RC		
効果: 攻撃力SL+0 装甲無視								
クロスバースト	3	4	メジャー			ドローム	80↑	
効果: 攻撃力SL×4 ダイス-2個								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果: 攻撃力SL×5								
氷の塔	3	3	メジャー		範囲(選択)	RC		
効果: SL×3 シーン一回								
七色の声	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

私は幼いころよりUGNによって隔離されたUGNチルドレンだ、私たちは社会との接触を極端に制限され、閉鎖空間の中で同じようなチルドレンたちと暮らしていた

私はそのことに不満はないのだが、私の性格はどうしても戦闘には向きであり、落ちこぼれ扱いされていた、また容量も悪かったから虐められたりもした

そんな私の味方になってくれた子がいた「彼」だ、彼は成績優秀だがどこか地味な子であり、彼はUGNに対してひどくいら立ちを募らせていた

「人間らしいことをもっとも教えてくれない」だの「日常を守ったって俺たちが日常を味わうことなんてできねえのに！」等と語っていた

そんな彼は私のことを機にかけ、面倒をよく見てくれた、そんな中私と彼はヴァンガードの雑誌を読んだ、私たちはそれぞれお気に入りのカードの名前を付けた

私はこの時から「ローゼ」に、彼は「焰影(ほかがげ)」になった

私たちは初任務の帰りにカードを買ってもらい、私は修羅忍竜ホカゲゴウを、彼は夜霧の吸血鬼ナイトローゼを、それぞれ差し出した

私たちはその日、こんな約束をした「もし私がジャームになったら・・・あなた、私を処分しに来て?」「ああ、いいぜ?その代り俺が死んだらお前が処分するんだ、ジャームは生きる資格なし、だが面も知らねえ奴に殺されるのは御免だ・・・これで安心して任務に出るぜ」「ええ、私も安心できたわ?」

それからしばらくして

私たちはUGNの訓練課程を終え、それぞれ名前を認められた・・・彼は、UGNを裏切った・・・

彼はFHで働いているらしい、そんな彼を殺すよう命令が下った、なぜ裏切ったんだろう・・・